

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	消防車両の側面シャッターを開放状態で出動してしまった事案
3. 体験した事例の中心的要素	消防庁舎より消防車両が緊急出動した際、側面シャッターが開放状態のまま出動してしまったもの。庁舎前を映す監視カメラで気づいた通信指令員が無線連絡を行い、消防車両は一時停車後、資機材等の落下及び事故の有無を確認し、シャッター閉鎖を行い現場出動を再開した。
4. 体験した事例の原因・理由	・側面シャッターは閉まっているだろうという思い込み ・車両周囲の確認不足

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年7月21日 午後2時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:消防署敷地内
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	飛来・落下ぶつにぶつかる
7. 事例体験時の活動	火災出動準備、[木造建物]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	資機材準備・撤収
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

[illegible][illegible]

--	--	--	--

● ●

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

他隊(員)から適切な注意を受けられなかった

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

個々で日頃から確認作業を意識するとともに、隊員間の確認を徹底を行いました。

○装備・資機材の対策について

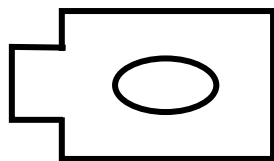
出動の訓練を行い、装備・資機材等出動時の積載方法を確認しました。

○活動環境の対策について

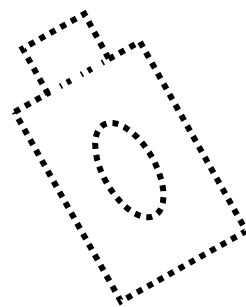
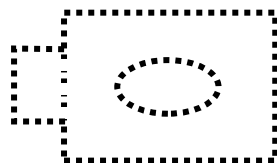
出動時に隊長や機関員が車両を周囲を確認してから出動し、出動時の誘導員も出動車両の状況を確認する。

○指揮・情報伝達の対策について

本事例に限らず、事案対応において注意欠如や焦りなどが起こり有ることを個々が理解し、呼称や隊員間の声掛けを積極的に行うよう共有しました。



すぐに無線発報で知らせる



指令室のカメラでシャッター開放を確認

